

# 市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成24年5月1日（火）午後6時30分～9時20分  
【会 場】鳥沼会館  
【対象地域】鳥沼、大沼  
【出席者】27人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
経済部	<p>こども園の（出入り口に面した）通りに一般車両が通るのであれば、狭いようなので交通安全の面ではどうなのかなと思います。最近、本州の方で事故があったので、そういう面で例えば、歩道を何かで仕切ったらどうかと思ったりしました。説明でよく分からなかったので、ちょっと聞ききたいなと思いました。</p>	<p>【中心街整備推進課長】全体的な道路の説明をさせていただきます。南4丁目道路については、両歩道を付けるという考え方です。（ご指摘の）東4条通については、富良野駅の方から走って来る車が、真っ直ぐ入れないような通行形態を考えています。（東4条通の入り口となる）南3丁目と南4丁目の道路ですが、歩道により車を遮断してしまうような作りを考えているところです。歩道を繋ぐことによって一回止まって、歩道上を見なかったら真っ直ぐ入れないような状態にしようという考え方で、一旦はスピード抑制させる。距離にすると約100m程度なので、スピードを出したとしても60kmも70kmも出すような道路ではないです。たくさん車が来る可能性はありますが、（東4条通は）宅地内通路ですし、事故なども起こりづらいと考えています。あと、先ほども話しましたが、マルシェに来るお客さんについては、東5条通と南4丁目の交差点のところから（南4丁目の道路に）入ってきて、マルシェの駐車場に入って出ていくという形になります。今のところ、道路の連絡会議があり、その中で話し合われているのは、東3条通については、国道に出るまでの距離が短いので、（マルシェから出て行くお客さんの車を）ここに誘導してしまうと、どうしても東3条通と南4丁目の交差点が滞留してしまうので、フラノマルシェに停まったお客さんは、駐車場から出たら（南4丁目の道路を）本通まで出てもらい、国道38号線、237号線の方に出てもらおうような形態を今行っているという形です。</p>

総務部・  
経済部・  
保健福祉部

この計画というかこういう考え方の根本の原因は、人口の減少が原因ではないかなと最初の説明で私は判断しました。人口を増やしていくと経済も生まれるし、税収も上がる。人口を増やすのに、出生率を富良野市民で上げるということではないと思います。多分、よそから人を呼ばないと人口が増えないと思います。まず、人口を増やすことを考えると、私は九州出身で、嫁は横浜で、就農させていただきました。残念ながら子どもはいませんが、増やしたいなと思っています。

そこで、私のような富良野を好きでここへ移住してきた人を増やしたいと考えるなら、まず若い男女を増やさないと増えません。そういう人たちのイメージで自分たちの子どもを預けられる場所というイメージで考えると、みんなが持っている富良野のイメージは倉本さんのイメージです。それでみんな富良野に来ていると思います。それが中心市街地だと、ちょっとPR不足になるのではないかなと思います。(保育所は)もっと田舎らしく、小さくても良いから沢山あって、自然環境がそのままの場所で子ども

また、視覚誘導標の話もしましたが、当然一旦停止するので、東4条通と南3丁目の交差点には、視覚誘導標の設置について何らかの対策を講じなければ、逆に運転者が見づらくなるという関係がありますので、対策を講じていきたいと考えております。東4条南4丁目の交差点についても、宅地内通路だとかそういうような目で見て分かるような「宅地内道路です」というような交通標識を設置していきたいと今のところは考えています。さらに、国道38号線と東5条通との交差点ですが、車がどうしても滞留してしまうということで、右左折レーンを作ります。国道38号線の交差点改良を行うということで今年から調査し、来年から工事が始まる予定です。

【市長】今お話があったそういう意見も、会場を回っていると聞ききしています。ただ、今人口をどうやって増やすのかという課題の取り組みと、もう一つは市街地の形成をどうやって維持していくかという問題があります。市街地を維持することを重点に、今回の中心市街地の基本計画を立てています。

人口を増やすということでは、平成18年から23年の約5年間で、42組の93の方が市役所の窓口を通して移住をしています。ですから、窓口を通さずに移住している方は100人以上いると思っています。その方たちは何をしているのかというと、将来就農するための準備をしている方や、観光を生んで自分で観光的なことをやりたいということで入ってきています。さらに、60歳以上の方で富良野に夏場だけ住んで、2極間の居住をしてみたいという方もいます。行政も力を入れましたので、そういう方たちがこの5年の間に行われてきました。もう一つは、今富良野の産業で、農業をしているからわかると思いますが、農業委員会で調査し、3月時点で50歳未満の配偶者のいない方が1

もを育てられますよというのをアピールすると、すごく人が集まるのではないかなと思います。

あと、問題は仕事です。農業については安定してきましたが、建築業は厳しかったです。観光と農業が二本柱だと思いますが、そこで1年間を通して暮らしていけるような仕組みを考えて、まずその若い人を増やす。他所からの人、富良野に良いイメージを持っている人、その人たちにPRするには（この計画は）ちょっと僕としては残念だなと思う。

11名います。これは大変な数字です。この人たちのこれから希望を持てるような状況づくりをするというのは、行政の責任かもしれません。ですから、そういう人たちに自ら配偶者を探してもらえそうな状況づくりを行政もお手伝いする。そういう形が、人口を増やしていく大きな要素になるというのが2つ目です。3つ目は、新しい企業をどう作っていくかということです。今行政で考えているのは、農業と観光と環境という問題で、取り組もうとしています。環境の問題というのは、原子力の関係で再エネルギーや新エネルギーが話題になっています。富良野市もエネルギーの問題では、みなさんに固形燃料を一生懸命分別して出してもらっています。この固形燃料をまず農業に活用できるような状況で、北大の農学部と研究しています。これが実現化することによって、ハウス栽培は、夏冬通してできる可能性もあるかもしれません。そういう利用をすることによって、若い農業者が富良野に定着できる要素ができるかもしれません。なぜそういかと言ったら、反別を多く作らないで、ミニトマトだとか、1町から1町5反くらいで生活できるような状況づくりをこれから行政も支援していくということです。今年から大きく4つの柱を立てて行っていますが、そういう形の中で増やしていくということも一つあるでしょう。もう一つは将来、これだけ木材に恵まれた地域ですから、木材からエタノールを採って化石燃料に代わる代替エネルギーの形をこれから考えていくということです。これは北海道大学と行政が提携をしながら研究をしています。ですから、これからの将来における雇用確保ということをやはり考えていく状況づくり。都会ではないので一気に増えてくることはないかもしれません。しかし、地味だけれどもそういう増やし方を行うのが、これから富良野にとって、この自然を守っていくことを考えた場合に、そういう状況が必要ではないかと思います。

経済部・  
保健福祉部

エネルギーの問題は、移住者にとって今はすごく重要なポイントだと思います。そういうエネルギー問題は、富良野は自立していますとかそういうものを総合的に訴えていくと、本当に来たいと思っている人はたくさんいると思います。先ほども言いましたが、みなさんが持っているイメージは、倉本さんのドラマのイメージです。まだ再放送とかされているようです。それにずっとおんぶに抱っこだとまずいですが、そのイメージは活かした方が良いので、僕の考えですが、できれば、いろんなところに小さくても良いから、自然環境が整った保育所とそこで現代的な学習もさせてあげられるようなシステムがあると、さらにエネルギー問題が充実していくとか安心して暮らせる。それには雇用が必要になりますが、人口が増えれば、いろいろ仕事も増えると思います。だから、どちらが先かという、すべて全部良いところ取りですべてをそこでやろうとするのではなく、移住したいという目線とし

それから保育所の関係でお話がありました。これからの子ども園は、教育をなささいということです。幼稚園教育をもっと保育所に取り入れなささいというのが国の狙いです。それと、残念ながら、少子化になると、今の若いお母さんたちは、年寄りと違って核家族で育った方が多いです。そうすると、お年寄りに見習うことというのはたくさんあります。昔は家族大勢で暮らしていましたから、お年寄りの背中を見て育った方もたくさんいますし、いろんな形で生活の知恵を伝承してくれました。そういうことが今は足りないと思います。現実的に。ですから、そういうことをやるためには、いろんな方と接することができるような状況づくりを行政として行う必要性があります。人間性を高める役割をこれから作っていかねばなりません。こういう構想があるということだけご理解いただきたいと思います。

【市長】まちづくり会社で考えているのは、7階建てのマンションは入る状況ができたから実施するのです。入る人がいないと言いますが、お金投資しているのです。相当な額です。そういうことを十分調査をして、そして入る人がいるということで計画をしたということです。

<p>経済部</p>	<p>では、この自然環境の中で暮らしたいなというのが一番だと思いますが、そこの保育所とマンションには、多分好んで住みたい、入りたいという人はいないのではないかと僕の考え方では思います。</p> <p>それは移住者も含めてですか。</p>	<p>【市長】当然そうです。鳥沼の方で入植して頑張っているという状況ですが、長く住んでいる富良野の住民にとっては、明治29年に富良野に開拓の鍬が入れられて、百十数年になり本通が昔は中心街でした。それがもう東5条へずれてしまったという経緯があります。これは町全体で住んでいる人の努力も足りなかったし、先ほどご説明しました商圈商業動向調査に載っているように、7割以上の方が、これから商売に期待を持って行おうという意思が見られないというこの調査の結果を見たときに、市街地形成というのはこれからどうなるのか。10年、15年先を行政としては考えていかなければなりません。「Aも良いけどBもCも」とこういう総合的なものが行政であるべきだと考えています。考え方としては否定することはいたしません。移住してきてそういう感じを受けているということで理解をしたいと思います。</p>
<p>経済部</p>	<p>7階建てのマンションのコンセプトについて、大都市圏のこれから若い世代の方が住む環境と子育て世代、そして子育ての終わった後の世代、年金暮らしの世代とでは、住宅に対する考え方が全然違ってきます。だからその点を含めて、若いときは雪はねやその他は何とでもなります。年を取ったら、雪はねをしたくないから雪はねしなくても良いマンションに住みたい。そして、周りに何歩も歩かないで商業施設がいっぱいあるところが良い。富良野市のコンセプトはその辺どうなっているのか。</p>	<p>【市長】一つは富良野も結構通勤族がいます。例えば、銀行マン・企業マンだとか、そういう方が住みたいということで、賃貸で結ぶ場合もあるし、購入してもらおうというものがあります。2つ目は、今申し上げました通り、他から富良野へ来て、俗にいう夏だけは富良野に住んで、冬は戻るという2極間の移住者も最近、希望としては増えてきました。そういう人の賃貸マンションか、あるいは購入していただく状況づくりをしていこうというのが2つ目。3つ目については、富良野に住んでいても、市街地に住みたいということで購入して住んでいただくお年寄りもいると聞</p>

経済部・  
保健福祉部

15年前に他から来まして、鳥沼の方に新規就農者として迎えていただき、本当に地域に育てられているといった状況です。今年、子どもが小学校1年生になり、鳥沼小学校入っていました。それまでは麻町保育所に預けて、お世話になっていました。実際この説明会も麻町の方でも聞きましたし、またそれに対してみなさんの意見も知っていますし、開発の方の話も聞きました。

まず一つは、先ほど市長は反対かどうかという聞く場ではないと言っていたので、それはその通りで話をさせていただきます。石川県の金沢出身で、実際金沢の方も城下町として観光地ですが、本当のその中心地が廃れてしまった時期がありました。思い切って県庁を郊外に移して金沢城を建てて、城下町を再現して、人は少なくなったけど、いわゆる城下町の空気感を出しました。そしたら観光客が結構戻ってきました。その整備を行って、去年東京の3つ星レストランが出店したそうです。金沢と富良野を一緒には当然できないのはわかっていますが、移住して来た者として、富良野のまちが好きで農業をしたいと思って受け入れていただきましたが、実際おっしゃる通り、飲食店・マルシェ、そういう開発は賛成です。ただ、こども園に関しては、もうちょっと違う形にならないのかなと思います。観光客もそうですし、最

いています。そういう3つの要件をこのマンションの中で行うというのが、まちづくり会社の経営方針です。ですから、行政としてもみなさんが話されていたような、いろんな問題を心配していますけど、会社としては、これからそういう取り組みするという事で、充分採算も取れるし、将来も明るいということで実施するというのがまちづくり会社の考え方です。行政としてもそれについて「ああしなさい、こうしなさい」ということは、今は言える段階ではないと考えています。

【市長】考え方はそれぞれ十人十色だから、一概にどうこうということはないです。しかし、今お話をさせていただいて、子どもを育てるというのは、幼児の期間だけではないです。生まれてから18歳までは子育て期間です。行政を預かる者としては、均等に雇用を保持していかなければなりません。ですから、それぞれの地域でお話し合いをしている中で、富良野ぐらい病院の産婦人科医が2名もいて、小児科医が3名もいる病院は北海道を探しても無いです。それぐらい安心して産める協会病院になっています。これは、行政や議会も含めて一生懸命お医者さんを探してきて設置をしてきました。そこはやはり保育所だけに限定してものを言わないで、もう少し広い目で子どもを育て、0歳から18歳までが親の責任、行政の責任を含めて、市民の責任で育てていくのがこれからのあり方だと考えています。ですから、そう意味から言いますと行政のあり方というのは、例えば麻町に建てたら良いというと、これはまた反対がたくさん出てきます。実際問題、どこに建てても反対は出ます。ですから、その総合的な判断をこれから全部回ってみて、行政がしなければならないということで今お話をさせていただいています。今、聞いている話では、意見として、十分受け止めて、他に回るところもありますから、その

近カフェとかパン屋さんが結構富良野の街で出店しています。私の友達も出店する予定ですが、何が良いのか聞いたときに街の空気感、何も無いとは言わないわけでは無いですけども、ちょうど良い感覚的なものです。そういうものが富良野はすごく好きです。実際、開発するのは、私は賛成な方ですが、鳥沼に育てていただいて、3年前に実は保育園を閉園しています。そのときの保育園の運営委員長でした。外から来た者が運営委員長をさせてもらえるくらい懐の深い鳥沼ですが、その中で鳥沼にも議員さんがいて、議員さんに言われました。本当に保育園のある意味を考えてくれと。確かに、保護者は減って子どもも減って、閉園せざるを得なくなって閉園したわけですが、そこにあった意味、これは鳥沼小学校も同じですし国の子寮も同じです。実際、空洞化しているという現状、ベッドタウンができています。「これはなぜか」とそういう理由もあります。郊外に生活の場があって、子どもたちは育まれる地域があって、商業施設とか飲食店とかがあるところに、先輩が教えてくれましたが、「三つ子の魂百までも」という言葉があります。そういういわゆる一番精神的に大事なものが育まれるところをちゃんとしてあげないと僕はダメだと思います。それがここは何でダメだということになるのでしょうかけども、こども園ではなくて、いわゆる知育施設が良いと思います。全天候型のそういう遊び場ではなくて、色んな子どもたちが知育玩具で遊べて、そこに例えば老人、そういう方々も一緒に遊べるようなそういう施設の方が良いと思います。こども園と何が違うのかといった場合に、こども園はその長い期間、子どもたちが育まれる場所です。だからむしろ今ある麻町か、もしくは中央の方に新しく建て直してそっちに新たに集約した方が良いと思います。中央の方は、あくまでも人を集める活性化させる、そしてそういう人のふれあいをということであるならば、いわゆる遊びの施設、ふれあ

人たちの意見も聞きながら、最終的には総合的な判断をしていかなければならないと思います。

<p>経済部</p>	<p>う施設、そういう方が合っていると思います。こども園に関しては、鳥沼で育てていただいて、鳥沼でそういうことを学んできたので、そういうことに関しては、ちょっと方向性が違うと思います。</p> <p>わかりますが、私個人の意見で受け止めていただいて結構です。ただ、私も外から来た者としてさっきも金沢のお話もしましたけども、育まれるところと発展させるところというのは分けた方が良いと思います。それは私の意見です。そうでなくてもその空気感というそういうものを作り出すことによって、人は来るのではないかと。</p>	<p>【市長】子どもをどうやってみんなで育てていくかという話をしています。今、この話し合いというのは、まちづくりの中心市街地活性化基本計画の問題をまず知ってもらうというのが一つです。二つ目に、そこに行政として設置することも園について請願が出てきましたから、その請願を受けて議会としての意見と質問の中で、それぞれ多くの人と意見交換をして決めてくださいというのが議会の意見です。今、話されていたのは、自然豊かなところに建設して、伸び伸びと育ててくださいと聞こえます。だから回ってみてそういう意見の人もいたということで理解しています。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>東鳥沼28戸の内、3戸が新規就農で、全道探してもこんなところは珍しいと思います。それで市長には、ぜひともお二方は子どもがいるので子育て支援をぜひともお願いしたいと思います。</p> <p>こども園ですが、個人的に将来的には民間に移行するのではないかと考えています。その辺の市長のお話をお聞かせください。</p>	<p>【市長】日本全国で、そういう状況も昨今生まれてきています。でも、私はそういう考え方は持っていません。直営と民間があって、選択できる範囲というのを持たなければならないと思っています。直営で行うのも良いところがありますし、民間で行うのも良いところがあります。ですから、全部民間にしてしまうような問題が発生することも、現実的にはこれから起こりうると感じています。偏りすぎてしまうという状況が生まれてくるでしょう。私としては現在の段階での判断としては直営で進めていきたいという考え方です。</p>
<p>経済部・保健福祉部</p>	<p>私も移住者の者です。賛成・反対は聞かないと言われましたが、私は反対です。はっきり言わせていただきます。先ほど、説明を</p>	<p>【市長】それぞれみなさんは、富良野に移住して来たということは、大都会で生活をして、新しい新地を求めて自分で自活をする</p>



聞いていましたが、こども園を作る意味がわからない。ここに作ったことで、この商業地がどう活性化するのか聞きたいです。

という意気込みで富良野へ来られたと思います。そういう意気込みについては、敬意を表したいと思います。改めて歓迎を申し上げたいと思います。

一つは物を買ってもらうために、例えばお母さんたちやお父さんたちにそこへきて、物を買ってもらうために作るということではないです。十分にそこは理解してもらいたい。にぎわいを求めるということです。先ほどからご説明させていただいていますが、商店街のみなさん方とこども園の子どもたちが交流してもらう。この辺で育った方は、核家族で育っていますから、そういう多くの人に知恵をもらう機会っていうのは少ないです。保育士さんもそういう世代の、今の状況で申し上げますと、お年寄りと同居した人もいるかもしれませんが、今27名か28名の保育士さんいます。残念ながら、そういう実態の中で生活はしている方は少ないです。ですから、これからの時代、こども園という国が設定をしたということは教育をするということです。ただ親が預けて、親に代わって保育をするということは、これからの時代では無くなります。そこが一つ大きなこれからの子どもを育てていく大きな違いです。昔であれば、忙しい中、子どもを保育園に預けて、そして預かってもらって生活をする。今これからの時代は、少子化の時代に入りますから、一人でも多く国の宝として、それぞれ市町村においては、市民もこぞって子育てに参加をできるような状況をつくり、ある程度街の中でそういう形成をする必要性があるというのが行政の考え方です。過日に、商店街のみなさんとお話した時にこういう話をしてされていました。古い方は、来てもらって商品を回遊して買ってもらうという売り方はしていないと言います。今まで生活してきた人は、そう言ってないです。にぎわいをもっと街の中にする方法はないのかというのが大きな願いでありました。それから二つ目に、それぞれ富良野の未来

<p>保健福祉部</p>	<p>そういうことを言っているのではありません。 今1歳の子どもがいます。来年からはもう保育所に預けようと思っ ています。上の子はもう麻町保育所に行っています。今は1歳になっ たばかりですけども、託児所に預けて夫婦で働かないといけない状 況です。周りからは1歳の子どもを預けるのって言う多少のいろん な意見あります。でも、事情が事情ですから、預けて、家の仕事を やらないと、なかなか経営的にも大変です。こういう家庭が保育 所に預ける人が多いと思います。大変な人たち</p>	<p>の子どもを守る会のみなさんから請願が出てきた内容の中で、各 地域でお話をして、俗に言う公害というか、一酸化炭素がかなり 出ていると。あの地域については、病気になった人もいるという お話もありました。病気になった方があそこに住んでいるという ことになれば、これは行政としては大変なことです。幸町のみな さんが健康診断でもやって、きちっとしなければならない問題も あるでしょう。しかし、行政としてやらなければならないという ことで、140万かけてそれぞれ拠点を決めて、この調査をする ことになりました。5月中旬には全部の調査の結果が分かると思 いますが、何か起こる、あるいは交通事故の問題についても、最 善を尽くすということがこれ行政の役割です。先程京都の事例も ありましたが、テレビを見て、一方通行で道路幅が狭く、歩道と 車道の間に白線だけを引いているという状況であれば、これは事 故が起きないのがおかしい状況です。ですから、そういうことは 行政がきちんと危険性のあるときには前もってそういう手を打 つということが、行政の大きな役割です。そういうことするとい う前提をもとに、何事もこれから行っていくというのが行政の在 り方だと、このように感じておりますので、そういう点も含めて、 みなさんのご意見をいただければ幸いです。</p> <p>【市長】正確な数字は、私のところでははっきり今のところわか りません。今、精査させていただいています。議会に出した分はわ かりません。市で受けた分については、重複している分が570、 580ありました。それから、もろもろありまして、ここで今お 話するわけにはいきませんから、全部終わった時点で総合的に これらの署名についてのまとめをしたいと感じています。です から、何人だということは今の段階では言うことはできません。 それは、署名をした方の意思もたくさんあるでしょう、あるいは賛</p>
--------------	--	---

が。預けるなら環境の良いところに預けたいっていうのが親の気持ちです。麻町と中央をせっかく新しくしてくれるなら、親としては良い環境、言っているのは自然環境です。この街の中でなくて、自然から学ぶもの、お年寄りから学ぶものも大事ですが、自然から学ぶものもたくさんあって、そういうところで遊んで育てほしいというのが願いです。だから、父母の会の人たちが、みんなそういう気持ちがあるのかどうかは私もわかりませんが、私たち夫婦はそういう気持ちがあって、この計画にはちょっと賛成できないです。

この間、署名とかされていましたよね。私も書きましたけどもどれぐらいの人が集まったんですか。

保健福祉部

保育所の先生方はどういう意見を持っているかわかりますか？

保健福祉部

ここにおられるみなさん（職員）もすべて賛成なんですよ？みなさんお孫さん、子どもさんを預けるとしたらこういうところが良いのか、それとも自然環境豊かなところが良いのか、どう思われますか？

保健福祉部

私は、特にそういう方たちと話をしていませんので、みなさんからどういう意見が出ているのかなっていうのを聞きたかっただけです。

同した方もあるでしょう。しかし、私のところにお電話をいただいている分については、かなり違ったお電話をいただいている分もありますので、これはやはり署名というものの問題をもっと真剣に取り組んでいただきたかったとそんな感じを持っています。

【こども未来課主幹】当然、市が行政として市民に案を示すということは、これは組織決定されたものです。当然、この保育所の職員についてもこれは組織が決定されたものということで、この前提で考えているのは当然です。

【副市長】今の話で、保育所の人で誰か何か言っているんですか？今、保育所の人どう言っていますかって聞かれて、何かあるから今言われたのでしょうか？まず、それをちょっとお聞きしたいと。

【副市長】私の子どもは保育所じゃなかったですけど、幼稚園に3人とも街の中に行っています。今、孫が街の中の幼稚園に行っています。みなさんいろいろお話になっていますけれども、富良野は街の中の環境が悪いという理解をしていません。外から来られた方の富良野に対する印象とは別に、我々としては富良野全体がそんな空気の悪いところだと思っていないし、自然豊かなと

保健福祉部

みなさん幼稚園に預けられているから、そういう考えになっているのではないですか？

ころだという理解をしています。

【副市長】いえ、うちの娘は今保育所の方に行っています。（「賛成されていますか？」との質問に）全然問題ありません。

【商工観光室長】0歳児保育の運営、それから中央保育所の父母会の会長もさせていただいたし、富良野小学校のPTA会長も全部一通りさせていただいていましたので、その経験でちょっとお話します。

まず、昔は0歳児保育が富良野市には無かったです。親は困ったなということで親同士が経営しようということで、街のど真ん中に民家を借りて、当然園庭も何も無いです。とりあえず、お母さん方も働ける場を作ろうということで実はスタートして、そのような中で行って来ました。その中には、当然いろんな考え方の人もいましたが、一番大切なのは子育てに思想信条は無い。子どもだけのために運営しようということで行って来ました。私は市役所ですが、自衛隊のお父さん、1次産業のお父さん、お医者さんなど、いろんな方がいて、そういう中で行いました。

その次に、中央保育所の父母会をみんなでさせていただきましたが、当然、子どもたちのために、親はどれだけできるのかという視点で全部行っていました。施設云々（うんぬん）とかそんなものではなく。例えば、中央保育所に昔プールは無かったです。小さい丸いプールで遊ばしていました。行政もそんなにお金が無いですから、麻町も確かそうだと思いますが、親でプール作ろうということで、農家の方もいるし、自分たちの資材、ビニールハウスだとかみんな持ち寄って出役で作りました。子どものために何ができるか、今ある中で何ができるかっていうことで、いろいろ行って来ました。それが保育所のころの思い出です。

三つ目は、小学校の話ですが、富良野小学校でPTA会長やっ

保健福祉部

一番考えてほしいのは、まず子どものため、それから子どもを持つ親のため、決して子どもを犠牲にしてほしくない。

た時に、給食で、地域の方とか一緒に懇談する場があって、年配の方も何人かいて、いろいろと相談を受けました。私から見ればおじいちゃんみたいな人たちです。中にはすごく植木が上手だったり石が上手だったりする人もいます。そういう方々に「素晴らしいですよ」と話したら、全然逆で「違うよ」と「そんな石磨いたって何も面白くないじゃない」と言いました。盆栽も凄いです。売ったら何万も何十万もするような盆栽を作る方たちもいっぱいいます。その人たちが言ったのが「子どもの顔を見るのが一番楽しい」と言われました。お年寄りにしてみれば「子どもたちの元気な笑顔を見るのが一番良いんだ」「人間としてそれが一番の喜びだよ」というお話され、そうだと痛切に思いました。それ以来、老人施設を建てることがあったら、例えば富良野小学校の横でも良いし、街の中でも良いし、小さい子どもたちとどう一緒に居られるというか、見て喜べるというか、そういう環境づくりがすごく大事じゃないのかなという気がしています。

まあ、自分の経験ですが。今回いろいろ市の方で提案はしていますけども、それぞれ世代の見方や意見があると思います。私はそういういろんな立場で色々携わってきましたから、そういう意見もあったということで。経験上のお話です。

【副市長】私含めて2例ちょっとお話ししました。

【市長】今の発言ですが、言っているご本人はどういう気持ちで言っているかちょっとわかりませんので、私からお話を少しさせていたいただきたいんですが、子どもを育てるとするのは保育所が育てるのではないですよ。親が育てるんです。この基本をきちっとやっぱり持っていたかかないと、保育所はその補完をするためにあるんです。そこをきちっととらえていただかないと、今お話をされた問題というのは、これはなかなか解決しない問題だと思

ます。子どものために行うということは共通の認識です。その中で親として子どもをどうやって育てるかというのはこれ基本です。それには障害があって仕事をしなければならないという問題があるから、その補完に保育所があってお手伝いをしているということです。ですから、保育所が主であるということだけは違うということだけ理解をしていただきたい。これは親が基本です。そういうことをきちっとわきまえて、これからやはり努めていただきたいなと思います。

もう一つはまちづくりのために、犠牲をしないでほしいと今ご意見がありました、行政というのは犠牲をするような状況を作るということは、余程のことが無い限りは、議会がありますから、執行者だけが勝手に決めて行うということではないです。みなさんが選んだ議員さんがいますので、議会で充分論議され、そして決定されます。ですから、執行者が勝手に進めるということはないということだけ一つご理解をしていただきたい。

【副市長】先ほどから私も子ども3人育てています。孫もいますけど、子どもは大事だと思っていますから、それはもうみんな子を持つ親みなそういう気持ちでありますので、それだけは理解いただきたいと思います。決して犠牲にすることは無いということをお考えいただきたいと思います。

【保健福祉部長】参考のためにお聞きいただきたいのですが、先進地ということで、去年の4月に2つの保育園を統合して1つにしたというところがあり、視察に行ってきました。場所的にはちょうど富良野でいう5条通が、そこは道道が走っています。ちょっとワンクッション置いて、富良野でいえば東3丁目になりますが、その付近にそこは保育園が建っています。2階建てですが、保育園の面積自体は、2階は子育て支援センターと一時預かりですが、1階部分の4分の3くらいが、保育所の面積です。恐らく

		<p>600～700㎡ぐらいしかない施設です。それを市は山の方の自然豊かな住宅街の一角に建てようとした。すると、保護者が猛反対して住宅街だといわゆるいろんな方たちとの交流がない、子どもたちには悪影響だという意見があがり、街に建てほしいという意見だったらしく、それで今言ったような中心街に持ってきたという経過があります。いろんな考え方があると思います。その人その人によって。でも地域の方は、住宅街の閑静な場所はではなく、もっと賑やかな所に持って行ってほしいと。近くに大きいスーパーがあります。道道は5条通と比較にならないくらい大型車が通ります。そういった所の一角に保育園が建っている。周りはコンクリートの2mくらいある塀で囲まれています。駐車場はある程度あります目の前に。園庭も運動会できるくらいのスペースは確保しています。プールはありません。プールへ行くには、道道を渡って20分くらい歩いて、市民プールまで行くようです。結局100%は多分満たされていない状況という感じがします。</p> <p>民間ですけども、今計画している富良野市より、大きい保育所で200名くらいの定員で、隣に幼稚園、ちょうど保育所の裏に老人施設があります。7階建てか8階建てぐらいの経営者が全部一緒です。そういったところもありました。これはあくまでも参考ですので、地域によってはそういったところもあるのかなとそんな話です。</p>
保健福祉部	どちらの街か教えてください。	【保健福祉部長】土別市です。
建設水道部	去年の11月13日、鳥沼地区の敬老会の日に、鳥沼公園に来てみたら、結構大勢の方が鳥沼公園にまだ来ていましたが、トイレを見たらもうシャッター降りていました。そういう時市長だっ	【市長】大変貴重なご意見いただきました。2つあるトイレについては直しています。ただ期間的な問題として、今11月まで観光客が来ているという状況をおそらく担当の方でも押さえてい

	<p>たらどうします？そういう施設があって使えないから環境汚染していいってことにはならないです。もう少しトイレを通年利用できるようにトイレに少しお金をつかってほしいってことをお願いします。次の日に市役所に聞いたら「こういうことでシャッター閉まっていたけど、用足したくなったらどうする」って。その答えは「近くの施設を使ってくれ」って。近くの施設ってどこにあるのかなと思ったら「ハートヒルパークまで行ってくれ」ってそんな答えですから。だからもう少し鳥沼地区にもお金をかけてください。</p>	<p>たのでないかと思いますが、閉鎖してしまったという現実がありますから、この問題は内部で少し協議し、実際に管理する人も置いていますから、公園を管理する人も置いていますから、直接市の職員でなくても公園管理する人を専属で置いていますから、そこと少し調整をしながら、充分その観光客の対応、そういう状況に対応できるような状況づくりを今年から作ってまいります。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>通年使えるようにしてほしいです。ハートヒルパークは通年使えます。あそこの交通量とここの交通量で比較したらこっちのほうが絶対多いと思います。</p>	<p>【市長】検討させてください。前向きに。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>北2号道路ですが、私は今もう農家してないからいいですけど、除雪車のVバネで砂利を吹っ飛ばして農家の方大変です。あの舗装いつごろになるのですか？</p>	<p>【建設水道部長】北2号道路につきましては、今北海道と調整をされていて、農業の補助整備事業とか北海道が行う農免道路の整備事業という位置づけを持ちまして、排水と舗装、道路の改良も含めて整備を計画しているところです。本年度から事業を立ち上げ、来年度調査、再来年度から実際に舗装がかかっていくというような計画になっているところであります。事業期間は5年間で仕上げます。</p> <p>トイレの関係につきましては、内部協議をするってということで市長が答弁させていただきましたが、富良野市も90箇所の公園を管理していて、通年使えるトイレは現在のところ公園管理上では無いです。唯一、駅前公園がそうだったんですけども。通年ということであれば、凍結などの問題があり、冬期期間については期間限定で使えない状況が起きるだろうと考えておりますが、内部協議させていただくということですので、協議させてい</p>



<p>教育委員会</p>	<p>夜、街場を歩くと、まだ春になって間もないので、そんなに若い人が出てないと思いますが、お祭りだとか夏休みだとかの時期になると、どこから湧いたかわからないくらいの中高生が夜9時10時、ちょっとしたら夜中までいるのではないかと。1、2回見ただけで断言はできませんが。そういう面で子どもの条例か何かでは確か18歳云々（うんぬん）っていうのがありますが、昔は学校の先生と警察が腕章なんかして見回りしていましたけど、最近はどうなのかと思ひまして。</p>	<p>ただきたいと思ひます。</p> <p>【教育長】今も巡視、補導をしております。今言ったその出店ばっかりでなくて、他の地域もずっと回って、みんな交代で行っています。その中でいろいろ指導したり、各学校とまた調整しながら行っていますし、その案件によっては保護者ともまた話したりそういう形でさせていただいています。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>一昨年大きな木が倒れました。山手幹線の市民農園の遊歩道を作りました。管理する段階で、向こうのバルブの開け方が大きいということ、草を刈れば勾配がないので詰まってしまう。水を汲む人はポンプで汲むから草が来るとこっちに来て網を張る。それを外していけばオーバーフローしませんが、公園の遊具施設があるところには一昨年の倒れるまで、公園管理者の人に言いましたが、普通の靴では行けないようになっています。市民農園やりながら、公園の端から水を流してきている。勾配がないからちょっと引っかかるとそういう状況で、担当者に直接会いましたので公園の木が倒れるという状況の中で、一昨年大きな木は倒して早急に水道課の担当者は全部やっていただきました。今回も、まだ上に大きな木があります。水道の管理上、倒れたら鳥沼全戸、中富、国の子寮の飲料水使っている住民が生活するのに大変苦労します。業者は全然、木は上げられない、切れなという話です。担当者は今度森林組合に聞いて何とか対策するという話でしたが、返答は来なかった。先日水道課へ行ったときに、部長がいて、そういう状況の話をしたら、早急に都市施設課で何とか予算をとっ</p>	<p>【建設水道部長】何の話をしているかみなさんわかりづらかったと思ひますが、鳥沼公園の池に湧水し、この地区の水源になっています。そこにポンプ小屋があり、ポンプで汲み上げて一回山へ上げてからみなさんのところへ中富良野地区も含めて配られています。これが水道組合の施設の構造ですが、ポンプ小屋の真上に、幹が1m50cm以上くらいの太い木が、傾斜のところにあります。去年のような台風があれば、木がそのまま倒れ、もし倒れたらそのポンプ小屋が壊れるというので何とかしてほしいということです。一昨年も風で倒れた例もあるので心配だということでの要望でありました。</p> <p>それでいろいろ業者とも相談しましたが、太い幹の木ですから、クレーンを持っていくにも山の中で大きなクレーンが四つん這いできないので、費用もかかるし方法も良く考えないと、切っている間にポンプ小屋が壊れたら何の意味もありません。そういったことで検証もして、今応援の要望いただきましたので、6月の補正に上げたい。これからヒアリングもありますので、予算を付けていただけるかなということで説明と経過をみなさんにお</p>

<p>建設水道部</p>	<p>て、足りなければ補正予算を付けてもらってでも処理しますという返答をいただきました。3年経ちますが、幸い部長がそういう返答をくれたので、安心しています。</p> <p>塩ビ管の耐用年数がよくわかりませんでした。泥炭地帯ということでトラクターが大型化され、毎年畑を起こして物を植えてという形になり、5名の方と試掘しまして、水道課の担当者の方に出して、一応もし何かあったら要望書をあげた方がよいということでした。3月の吹雪いた日に試掘を15カ所行い、一番深くても農道や排水のところを通っているところが深いです。普通のところは浅いところだったら50cmあるかないかで、メーターも全部測って出して写真も撮ってあります。そういうことで今回も水道課の方にはそのような要望で出しています。昨年3月の11日の東北震災の時に、泥炭地帯は水道の管が折れるので、水が来ないというのは、必ずどこかで折れている、断水しているということで。雪の上なのでその日は分からないため、下の人には今日は断水して明日復旧しますということでやりました。雪の中ですから、次の日に行くと分かります。断水して折れたところは水を吸って引っ込んでいるので、幸い3カ所そういうところがあり、直して即見つけられたから良かったのですが、そこは浅いです。トラクターを引っ掛けないようにするということですが、園芸作物の中に水道管が走っている場合もありますし、今後やるにしても斜め横断にしている場所もあります。大変難しいですけど排水・道路・農道なり、そこは改良区の方で全部やり替えて全部下を潜ってくれています。問題は、通常の場合で水が切れたと連絡あり、行ってみると本当に浅いです。そういうところも今年は耐用年数過ぎていますし、部分的に直していく年次計画でやっていきたいということで、計画を作成中です。今後ともそういう話</p>	<p>知らせいたします。</p> <p>【副市長】わかりました。</p>
--------------	---	--------------------------------------

<p>保健福祉部</p>	<p>があったらよろしくお願いします。</p> <p>先ほど産まれてから18歳までが子育てで、そこは親の責任行政の責任ということで、私自身も子育てをしていく上で、まず産むところから本当に協会病院に産婦人科の先生がいてくれたおかげで無事に産むことができました。娘が小学校に行っていますが、小学校の方から教育の理念で「すべては子どもたちのために」ということが合言葉で「無限の可能性を」ということで、その理念がすごく納得できて私も親として探っているところですが、富良野市の0歳から5歳までの幼児教育の理念の軸のようなものがあってぜひ教えていただきたい。</p>	<p>【保健福祉部長】0歳、1歳、2歳、3歳という順を追った形で、かなり育つ段階が違いますので、そういったことを考えると次世代育成支援にもとづいて子育て支援そのものは一つ大きなところで行っています。その子どもによってすべて違いますから、例えば0歳であればハイハイから始まって立つのも女の子、男の子でも違うし、同じ男の子でもさらに遅れたりとかすると、そこには発達支援ですとかそういう部分も全部見極めていかなければなりません。子どもたち一人ひとりを見極める中で、しっかりした子育ての応援をしていくというのが基本的考えになると思っています。</p>
<p>経済部</p>	<p>土地の低いところ住んでいますが、おかげさまで少し収まりましたが2年間、畑を水没させていただきました。2度あることは3度あるとよく言います。そんなところに住んでいるお前が悪いと友だちに言われたこともあります。そういうこと言われたいような環境にしていきたい。何とかよろしくお願いします。</p>	<p>【市長】一部、昨年富良野で集中豪雨が来たところについて、一昨年畑がやられたので、扇山のところにもポンプ配置しました。それで去年ポンプ配置して、そのポンプ全面管理してもらっていますから、雨降りそうだったらそのような対応するし、降っている間はどうかということをお任せしてポンプ自体を預けた例もあります。あまりそういう状況がひどいということであれば、現場を見せていただき、担当者が少し回って見て、そういう状況を見ながら判断をしなければならない。それがその一時的にそういう状況で良いのかどうか。全面低ければ、土の入れ直しとか、いろいろ土壌改良するような状況づくりとか、排水をやるとかという問題に発展する恐れがあるのか、無いのかということも含め、一時的にそういうことでできるのであれば、ポンプの配置的なものを考えますが、それ以外のことになるとこれは1件だけの問題でなくなる恐れもあります。</p>

<p>経済部</p>	<p>私たちの地域の農地10ヘクタール以上は水に浸かったということです。</p>	<p>【市長】今話しあった問題は、少し地域に回ってみて農業サイドでそういう集中豪雨の時だけでなく、農業サイドの関係でそういう状況がどうこれから解決できる道ができるか、少し検討してみます。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>今日は中心街に保育所をとということで、何度も説明を受けさせていただいて、今日は子どもから言われたことのお願いがあり、一言いうために、今日はこの鳥沼の地域に来させていただきました。子どもから今日なぜ中央と麻町が一つになって中心街に移転する予定なのと聞かれて、私は何度も説明を受けてきましたが、大人の言葉で説明しても分からないのです。10年、15年先になると、私の子どもが成人になり、結婚、子育てとなると、今後予定されている場所を使うことになるかもしれません。そんな中、娘が言いました。毎日のニュースを見て、とても交通事故の多さを考えると中心街に保育所が建つということは恐ろしいと言っていました。どうか今後、子育てをする子どもたちに不安の残る場所にならないよう配慮して改善していただきたい。そしてふさわしい場所となることをお願いいたします。</p>	<p>【副市長】そういうお話だったということで理解してよろしいですか？はい分かりました。</p>
<p>経済部・保健福祉部</p>	<p>こども園の建築費ですが、市街地再開発の区域内と他のB案C案ですか？市の持ち出し変わってくるのでしょうか？</p>	<p>【こども未来課長】保育所の建物につきましては、実施設計など詳細に起していないのでどれくらいかかるのか、詳細にはわかりませんが、概算で算出したときには今1770㎡程度で、他の似たような施設でだいたい㎡当たり25万円程度で考えた時には約4億2千万～3千万円程度という形です。例えば、中央とか麻町に建てても同じ規模で考えれば、この程度ですが、保育所建設については一切国の補助などはありません。しかし、この市街地再開発事業によって行うことによりまして、共通部分や設計部分につきましては、国の補助があるというような形になっていま</p>

<p>経済部・保健福祉部</p>	<p>共通部分とは。</p>	<p>す。</p> <p>【中心街整備推進課長】この市街地再開発事業を行う部分では、国から3分の1、市が3分の1、事業主体のまちづくり会社が3分の1という形になっています。いずれにしても、国も市も、あくまでも共通部分に関わる部分の3分の1の補助を出すという形になっています。</p> <p>【中心街整備推進課長】例えば、建物の1階部分が飲食店・物販店という部分なのですが、この中で通路などあります。そういう通路に関わる部分など、共通する部分に3分の1の補助が出るということです。また、この全体の事業に関する基本設計、それから実施設計の部分が、共通する部分ということで、それについても3分の1の補助が出ますという考え方です。</p>
<p>経済部・保健福祉部</p>	<p>要するに中央と麻町のところに建てた場合は、国の補助がないということですか？</p>	<p>【中心街整備推進課長】そうです。</p>
<p>経済部・保健福祉部</p>	<p>このあと、どれくらい議論を進めて、最終的に議会決定だと思いますが、いつごろ決定されるのですか？</p>	<p>【市長】この請願につきましては、一つは署名の内容と請願の内容が違います。行政で受けた署名の内容についての意見がありますが、請願が優先しますので、請願の優先でいけば今回の計画は一旦白紙に戻すということで、今選定場所を設けて行っています。そういう状況で、「保護者をはじめ、関係者や地域と充分に話し合い、総合こども園建設計画を進めること、子どもたちが健やかに育める環境づくりを基本とする」この3つが請願として採択されました。これを受けて行っているということです。実際今話しありました件、だいたい今15団体、それから15連合会、これを単位にして、話し合いを進めてあと、6カ所くらい残っています。5月の中旬ぐらいまでには、だいたいの状況づくりがで</p>

経済部・  
保健福祉部

具体的にいつごろっていうのは。

きるだろうと考えています。ですから、そういう状況と、もう一つは地方自治法の125条という規定が行政に対してあります。「本請願の処理の経過及び結果について、同上の規定に基づいて速やかに文書をもって報告してください」という議会からのご通知をいただいています。ですから、議会の方で請願があったそれぞれの話し合いの中身、あるいはどういう状況という報告を行政からしますので、その後という形になると考えています。

【市長】議会がありますので、私の方でここで何月と申し上げることはできません。それと、請願の内容というのは、ずっと各場所を回ってみて、環境だとか交通安全だとか、駐車場の問題、送迎の問題です。ですから、順次その要望に応えた中で検討して、次の会場の時にお話をさせていただいています。ただ、前進無くして20会場以上も行う必要性はないですから、前進できるようなことも行っていくというのが行政の基本です。署名側の数が多かった、少なかったということは行政としては法的に、署名については効力は無いです。法律的にはないです。ただ、そういう要望があったというだけは充分受け止めなければいけないと考えています。

経済部・  
保健福祉部

署名が来たのが、たまたま知人の娘だったので言ったことは、広報に意見を聞く欄があって、もう半年前か1年前に、このことについて意見を汲み上げていたにも関わらず、今ごろになって賛成だとか反対だとか、ましてや署名が云々というのは遅いと言いました。回って来たときに、ひと月くらい普通は意見を聞く期間があります。それでその時に一人で決められなかったら、何人かの人と話す、または議会の市議会議員さんと相談して何らかのアクションをかけたっていうことであればわかりますが、こんなに

【市長】それぞれ父母のみなさん方と「富良野こどもの未来を守る会」という会が富良野にはあります。これは父母会とは、また別の会だと認識をしています。ですから父母の方々も富良野こどもの未来を守る会というのは、どういう形になっているのか、行政の方では、まだはっきりその状況はつかめていません。しかし、請願が上がったということは、それだけの組織力があって、きちんとした形があるのだろうということで、市が署名を受けた段階で、いろんな精査をしているところです。現実の問題としては、

時が過ぎてから言うのは遅いと言いました。市長の言っていることで、自分はそう思いました。

経済部・  
保健福祉部

私はまちづくりに関心がありますので、この件に関しても今日で4回目の出席をしています。市長が先ほど言ったように、各地域でいろんなお話があって、質問に対してそれに対する改善点が、その都度進歩していると言ったら大変失礼ですが、真摯に回答していることは感じています。しかし、先ほど「いつ結論が出ますか？」というお話に対して「まだわかりません」というお話がありました。以前、市長にお話したのは、中心市街地再開発事業については、富良野の20年後、30年後のまちづくりの基本になる計画という理解をしていますし、そう聞いています。ということであれば、総合こども園の庁議が12月の終わりに決定して、市民に伝達されたのは年が明けてから、それから3、4カ月の間に結論を出すのは拙速ではありませんかということで話をしました。何かの書面、新聞だったかも知れませんが、5月いっぱいまで結論を出して、6月に国の方に申請を上げると聞いたので、この市長と語る地域懇談会が始まって、まだ1カ月、1カ月もという考えもあるのかもしれませんが、しっかりと地域の意見を拾っていただいて、それをどういふどの地域までは必要ないか

そういう状況ですので、行政としては、これらの署名を含めて、そういう明確なきちんとした団体でお話や要請活動していただかないと、これだけ時間をかけて、1カ月半以上かけて昼と夜とそれぞれの団体と話し合いをさせていただいている経緯というのは、議会の方から言われた関係もありますし、首長としてそういう信念で行っていますから、話し合いについては、ここは良いだろう、あっちは良いだろうということは全く考えていません。これから5月の中旬くらいまでは、いろんな人の意見もありますし、いろんな地域もありますから、そういう人たちの意見を十分聞いた上で、最終判断をしなければならないということです。

【市長】既に4回目、同じ言葉をいただきました。そういう意味から貴重なお一人の意見と受け止めていきたいと思います。ただ、お話の中で議会というものがありますから、市民とのフィードバックということは、ちょっとできないと思います。当然、議会に先ほど言った125条の規定にもとづいて、議会の方から報告をしてくださいというご通知をいただいていますから、議会でこれは論議を報告した後、やらざるを得ないのではないかと考えています。

もしもありませんけれども、市民からこういう意見が出てこういう風に改善をしてこういう風に出します。こういうことを考えて、こういう風にやりたいですというのを丁寧にフィードバックする必要があります。地方自治法125条で、フィードバックする義務があると伺いましたので、それを市民に向かってしっかりと丁寧に話をする必要があると思います。なぜかという、総合こども園のみならず、私たち市民や現役世代よりは、子どもや孫、その次の世代の人たちが、自信を持って自慢できるまちにしてあげなければいけない義務を持っていると思います。それを果たすために市民もこういう風に行政の話聞き、行政もそれに対して丁寧に話をしていると思います。これからあと数カ所だと思えますけど、私もまだ時間の許す限り参加しようと思えますが、丁寧な意見を拾っていただいて、それをしっかりとフィードバックしていただきたい。6月の申請に間に合うようになっていうケツカッチンの話ではなく、しっかりと将来を据えたまちづくりをするためには、しっかりとした議論、合意形成をする必要があると思えますので、そこをよろしくお願ひします。

経済部・  
保健福祉部

例えば、広報なんかで流すことはできないのか。

【市長】ですから何回もお話させていただいていますが、恐らく会場的には相当な会場になりますと、一つ漏れても問題が起きるんです。回答しなかったら一つ漏れても。これだけいたら700から800人、恐らく1000人近くの方になり、その内お話しする人は決まっているかもしれませんが、聞いている人でもその中にいるわけです。ですから、たくさんそれだけの意見をいただいていると全部広報に載せてということについては、私は類似の質問ということで整理しなければならないと考えています。

経済部・

市長が言っていることはわかります。すべて出さないという

【市長】わかりましたが、ただ意見が出ているのは、先ほど話し



保健福祉部	<p>話にもならないと思います。要するに類似でもある程度、市民一人ひとりが分かるような回答というのが必要ではないかと思います。もちろん、手続き上は議会を通してということは大前提な話でしょうが、例えば、懇談会に来る方々は、ある程度その地域のことに関心がある方だと思います。たまたまこの会に出席できなかったという方もいるかもしれません。広報をしっかりと読んでいる方も当然いっぱいいると思います。一番市民に伝わりやすい方法が広報なのかなと思うので、例えば広報に載せて市民に向かって説明する手段があるのではないですかというお話をただけです。良い手段があれば考えていただければと思います。</p>	<p>たこの請願に出ている交通の問題だとか、環境の問題だとか、同じような問題が各地で何回も出ています。ですから、そういう共通の同じものについては、まとめてできるということです。</p> <p>【副市長】ご意見ということによろしいですか？</p>
-------	---	--